

## 平成22年8月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年6月30日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 シベール  
 コード番号 2228 URL <http://www.cybele.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐島清人  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 本田政信  
 四半期報告書提出予定日 平成22年7月15日  
 配当支払開始予定日 —

TEL 023-689-1131

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年8月期第3四半期の業績(平成21年9月1日～平成22年5月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年8月期第3四半期	3,024	△3.4	114	95.3	105	113.9	50	—
21年8月期第3四半期	3,130	—	58	—	49	—	△42	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年8月期第3四半期	2,809.04	—
21年8月期第3四半期	△2,369.34	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年8月期第3四半期	5,033	2,764	54.9	153,011.36
21年8月期	5,541	2,792	50.4	154,533.46

(参考) 自己資本 22年8月期第3四半期 2,764百万円 21年8月期 2,792百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年8月期	—	0.00	—	3,000.00	3,000.00
22年8月期	—	0.00	—	—	—
22年8月期(予想)	—	—	—	3,000.00	3,000.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年8月期の業績予想(平成21年9月1日～平成22年8月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,273	△0.4	229	70.2	208	74.6	98	△9.2	5,423.95

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ「定性的情報・財務諸表等」4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、4ページ「定性的情報・財務諸表等」4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年8月期第3四半期	18,068株	21年8月期	18,068株
---------------------	-------------	---------	--------	---------

② 期末自己株式数	22年8月期第3四半期	—株	21年8月期	—株
-----------	-------------	----	--------	----

③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年8月期第3四半期	18,068株	21年8月期第3四半期	18,068株
--------------------	-------------	---------	-------------	---------

**※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項**

本資料に記載されている業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績は予想数値と異なる可能性があります。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における我が国経済は、政府の月例経済報告によると、景気は、着実に持ち直してきているものの、なお自律性は弱く、失業率が高水準にあるなど厳しい状況にあると判断されております。当社が依存している個人消費につきましても、経済対策の効果もあって、持ち直しの兆しがあり、消費者マインドは、改善の動きがみられるようになりました。

このような経営環境の下、当社では、主力商品のラスクに季節限定の新商品の追加を復活させるなどの商品政策をとって参りました。また、平成21年12月には、公益財団法人弦地域文化支援財団に「シベールアリーナ&ライブラリー」及び「ファクトリーメゾン」の建物等の一部を504百万円で譲渡し、財務体質の改善を図り、さらに、平成22年5月には代表者の変更を実施し、経営体制を刷新致しました。

当第3四半期累計期間の売上高は、ラスクの通信販売が振るわなかったことから、前年同四半期に比べ3.4%減収の3,024百万円となりました。損益につきましては販売費及び一般管理費が減少したこと等から、営業利益は114百万円(前年同四半期比95.3%増)、経常利益は105百万円(前年同四半期比113.9%増)となりました。四半期純利益は黒字転換し、50百万円(前年同四半期は42百万円の四半期純損失)となりました。

なお、平成22年8月期の業績見通しにつきましては、計画に比べ大きな変動が無いことから、売上高は前期に比べ0.4%減少の4,273百万円、利益につきましては減価償却費が減少すること等から、営業利益229百万円(前期比70.2%増)、経常利益208百万円(前期比74.6%増)を見込んでおります。当期純利益につきましては、税金費用が前期に比べ増加することから98百万円(前期比9.2%減)を見込んでおります。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

総資産は5,033百万円となり、前事業年度末に比べ508百万円の減少となりました。主に有形固定資産の譲渡504百万円があったことによるものであります。

(負債)

負債合計は2,268百万円となり、前事業年度末に比べ481百万円の減少となりました。主に短期借入金が300百万円、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)が225百万円減少しましたが、一方で未払法人税等が57百万円増加しております。

(純資産)

純資産は2,764百万円となり、前事業年度末に比べ27百万円の減少となりました。これは、四半期純利益の計上50百万円、剰余金の配当54百万円及びその他有価証券評価差額金が24百万円減少したことによるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ189百万円増加し、466百万円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、451百万円となりました。これは主に、税引前四半期純利益の計上116百万円、減価償却費の計上232百万円、法人税等の還付額63百万円、売上債権の減少額53百万円があったことにより、資金が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、318百万円となりました。これは主に、有形固定資産の売却による収入505百万円がありましたが、一方で有形固定資産の取得による支出48百万円、無形固定資産の取得による支出71百万円があったことに加え、定期預金の預入による支出が定期預金の払戻による収入を90百万円

上回ったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、579百万円となりました。これは、短期借入金の減少額が300百万円、長期借入金の減少額が225百万円、配当金の支払額が53百万円あったことによるものであります。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては平成21年9月30日付「平成21年8月期決算短信(非連結)」に記載の業績予想と変更はありません。

### 4. その他

#### (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### ① 簡便な会計処理

###### ・一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

###### ・固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

###### ・法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

##### ② 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

#### (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

##### 表示方法の変更

当第3四半期累計期間(自平成21年9月1日 至平成22年5月31日)

(キャッシュ・フロー計算書)

前第3四半期累計期間において営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めておりました「匿名組合投資損益」(前第3四半期累計期間2,819千円)は、重要性が増したため、当第3四半期累計期間においては区分掲記することに変更しました。

1 【四半期財務諸表】  
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年5月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	616,174	336,375
売掛金	73,242	126,437
たな卸資産	87,559	91,658
未収還付法人税等	—	63,155
その他	86,209	69,000
貸倒引当金	△1,461	△2,144
流動資産合計	861,723	684,484
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,022,210	2,610,674
機械及び装置(純額)	235,868	251,540
土地	1,165,763	1,165,763
その他(純額)	268,464	370,578
有形固定資産合計	3,692,306	4,398,555
無形固定資産	121,586	37,376
投資その他の資産		
投資有価証券	106,202	131,679
その他	251,357	289,975
貸倒引当金	△111	△127
投資その他の資産合計	357,448	421,527
固定資産合計	4,171,341	4,857,459
資産合計	5,033,065	5,541,944
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	92,311	113,587
短期借入金	—	300,000
1年内返済予定の長期借入金	416,168	424,338
未払金	147,980	155,279
未払法人税等	79,902	22,649
賞与引当金	42,000	21,000
ポイント引当金	18,326	21,479
その他	75,844	64,628
流動負債合計	872,533	1,122,963
固定負債		
長期借入金	1,390,328	1,607,904
その他	5,595	18,965
固定負債合計	1,395,923	1,626,869
負債合計	2,268,456	2,749,833

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年5月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	488,355	488,355
資本剰余金	554,141	554,141
利益剰余金	1,767,832	1,771,283
株主資本合計	2,810,328	2,813,779
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△45,719	△21,668
評価・換算差額等合計	△45,719	△21,668
純資産合計	2,764,609	2,792,110
負債純資産合計	5,033,065	5,541,944

(2) 【四半期損益計算書】  
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年9月1日 至平成21年5月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年9月1日 至平成22年5月31日)
売上高	3,130,157	3,024,321
売上原価	1,636,847	1,565,652
売上総利益	1,493,309	1,458,668
販売費及び一般管理費	1,434,438	1,343,720
営業利益	58,871	114,948
営業外収益		
受取利息	418	167
受取配当金	589	1,499
文化施設運営収入	17,230	—
受取賃貸料	—	6,954
雑収入	3,362	6,647
営業外収益合計	21,601	15,268
営業外費用		
支払利息	28,630	23,175
雑損失	2,731	1,976
営業外費用合計	31,362	25,152
経常利益	49,110	105,064
特別利益		
保険解約返戻金	24	5,262
匿名組合投資利益	2,819	13,370
固定資産売却益	—	494
特別利益合計	2,843	19,127
特別損失		
固定資産除却損	2,252	1,478
減損損失	76,189	—
投資有価証券評価損	10,291	86
関係会社株式評価損	—	6,000
特別損失合計	88,732	7,565
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△36,779	116,627
法人税、住民税及び事業税	26,752	73,355
法人税等調整額	△20,722	△7,482
法人税等合計	6,029	65,873
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△42,809	50,753

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年9月1日 至平成21年5月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年9月1日 至平成22年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△36,779	116,627
減価償却費	273,815	232,249
減損損失	76,189	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△846	△698
賞与引当金の増減額 (△は減少)	14,000	21,000
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	1,794	△3,153
受取利息及び受取配当金	△1,008	△1,666
支払利息	28,630	23,175
匿名組合投資損益 (△は益)	—	△13,370
固定資産売却損益 (△は益)	—	△494
有形固定資産除却損	2,252	1,478
投資有価証券評価損益 (△は益)	10,291	86
関係会社株式評価損	—	6,000
売上債権の増減額 (△は増加)	41,138	53,195
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△10,771	4,099
仕入債務の増減額 (△は減少)	△34	△21,276
未収消費税等の増減額 (△は増加)	39,008	—
未払消費税等の増減額 (△は減少)	16,860	8,070
その他	22,563	940
小計	477,104	426,263
利息及び配当金の受取額	1,008	1,666
利息の支払額	△20,102	△16,920
収用補償金の受取額	33,000	—
法人税等の還付額	—	63,155
法人税等の支払額	△134,799	△22,752
営業活動によるキャッシュ・フロー	356,210	451,413
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△270,000	△270,000
定期預金の払戻による収入	180,000	180,000
有形固定資産の取得による支出	△432,076	△48,268
有形固定資産の売却による収入	—	505,411
無形固定資産の取得による支出	△2,685	△71,450
投資有価証券の取得による支出	△54,533	—
その他	△1,168	22,404
投資活動によるキャッシュ・フロー	△580,463	318,097



(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年9月1日 至平成21年5月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年9月1日 至平成22年5月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	300,000	△300,000
長期借入金の返済による支出	△225,742	△225,746
配当金の支払額	△53,962	△53,965
財務活動によるキャッシュ・フロー	20,295	△579,711
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△203,958	189,798
現金及び現金同等物の期首残高	516,968	276,375
現金及び現金同等物の四半期末残高	313,010	466,174

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. 生産及び販売の状況

(1) 生産実績

(単位：千円、%)

事業部別		前第3四半期累計期間 (自平成20年9月1日 至平成21年5月31日)		当第3四半期累計期間 (自平成21年9月1日 至平成22年5月31日)		比較増減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
P I S 事業部	ラスク	756,385	48.5	689,095	46.0	△67,289	△8.9
	洋生菓子及びその 他焼菓子等	—	—	12,365	0.9	12,365	—
	小計	756,385	48.5	701,460	46.9	△54,924	△7.3
M I S 事業部	洋生菓子及びその 他焼菓子等	540,716	34.7	513,511	34.3	△27,205	△5.0
	パン	262,652	16.8	282,220	18.8	19,567	7.4
	小計	803,369	51.5	795,732	53.1	△7,637	△1.0
合計		1,559,755	100.0	1,497,192	100.0	△62,562	△4.0

(注) 金額は製造原価によっております。

(2) 販売実績

(単位：千円、%)

事業部別		前第3四半期累計期間 (自平成20年9月1日 至平成21年5月31日)		当第3四半期累計期間 (自平成21年9月1日 至平成22年5月31日)		比較増減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
P I S 事業部	ラスク	1,240,768	39.6	1,074,903	35.6	△165,865	△13.4
	その他焼菓子等	77,152	2.5	82,484	2.7	5,331	6.9
	洋生菓子	41,063	1.3	31,387	1.0	△9,675	△23.6
	小計	1,358,985	43.4	1,188,775	39.3	△170,209	△12.5
M I S 事業部	ラスク	396,611	12.7	497,668	16.5	101,057	25.5
	パン	362,530	11.6	395,961	13.1	33,431	9.2
	洋生菓子	407,106	13.0	381,344	12.6	△25,762	△6.3
	その他焼菓子等	337,768	10.8	302,221	10.0	△35,546	△10.5
	料飲	267,155	8.5	258,348	8.5	△8,806	△3.3
小計		1,771,172	56.6	1,835,545	60.7	64,373	3.6
合計		3,130,157	100.0	3,024,321	100.0	△105,836	△3.4